

陸前高田市まちづくり総合計画 基本政策 指標一覧

基本政策	指標名	現状値 (平成29年度)	目標値		目標設定の考え方
			5年後 (平成35年度)	10年後 (平成40年度)	
1 生活道路・交通環境を整備する	生活道路・交通環境に満足している人の割合	33.3%	40.0%	50.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で50%になることを目指す
	市道整備率	47.0%	53.5%	60.0%	岩手県内の市町村の道路改良率の平均値(60%)を目標とする
	橋梁長寿命化計画に基づく橋梁の修繕数(延べ数)	5橋	31橋	37橋	陸前高田市橋梁長寿命化修繕計画の計画値
	市内を運行する公共交通の利用者数	18,000人	18,000人	18,000人	人口減少が見込まれる中、利用者数の現状維持を目指す
	中心市街地と観光地等を結ぶ2次・3次交通の結節点の整備箇所数	0箇所	1箇所	2箇所	5年後までに1箇所、10年後までにさらに1箇所の整備を目指す
2 水道水の安定供給と適切な下水処理を推進する	水道水の供給と下水処理に満足している人の割合	73.4%	80.0%	85.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で85%になることを目指す
	水道普及率	89.1%	90.9%	92.4%	人口の減少分と拡張や再建等の新設を合わせ、年0.3%の増加を目指す
	水道管の耐震化率	27.0%	35.4%	42.4%	直近5か年の平均増加率年1.4%を維持する
	浄化槽設置率	49.0%	54.2%	66.8%	汚水処理施設概成アクションプランの計画値
	公営企業会計化進捗率	19.0%	100.0%	100.0%	2年後(2020年度)に100%を目指す
3 住環境整備を促進する	住環境に満足している人の割合	62.0%	70.0%	75.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で75%になることを目指す
	住まいるリフォーム支援事業助成件数(延べ件数)	369件	520件	670件	直近3か年平均を維持する
	景観形成基準に適合している建築物等の割合	0.0%	90.0%	90.0%	概ね基準に適合することを目指す
	運動公園利用者数	0人	10,000人	10,000人	県内の同様の施設と同程度の利用者数を目指す
4 地域の伝統や文化を大切に する	地域の伝統や文化の保護・活用に満足している人の割合	56.7%	70.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	市民芸術祭参加者数	1,881人	1,900人	1,900人	人口減少が見込まれる中、参加者数の現状維持を目標とする
	文化財報告会及び展示会参加者数	323人	330人	330人	〃
	教育普及事業(出前講座、博物館教室、中沢浜貝塚関連事業)参加者数	305人	310人	310人	〃
5 生涯学習を推進する	生涯学習の推進に満足している人の割合	69.7%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	各種講座等参加者数	6,200人	6,200人	6,200人	人口減少が見込まれる中、参加者数の現状維持を目標とする
	各種講座等参加者の評価	90.0%	92.0%	95.0%	10年後(H40)に5%の増加を目指す
6 防災意識を高め、防災・減災体制を整える	防災意識の普及と防災・減災体制に満足している人の割合	68.6%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	防災メール登録者数	2,000人	3,000人	5,000人	5年後には人口の15%、10年後には人口の25%を目指す
	自主防災組織率	66.0%	100.0%	100.0%	5年後(H35)に100%を目指す
	防災マイスター資格取得者数(延べ人数)	0人	200人	400人	年40人の取得者を目指し、10年後には今年度の10倍とする
	津波避難訓練参加者数	2,053人	3,000人	4,000人	平成29年度実績に対し、5年後には1.5倍、10年後には2倍とする

基本政策	指標名	現状値 (平成29年度)	目標値		目標設定の考え方
			5年後 (平成35年度)	10年後 (平成40年度)	
7 消防・救急体制の充実を図る	消防・救急体制に満足している人の割合	84.3%	87.0%	90.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で90%になることを目指す
	消防団員数	631人	631人	631人	現状維持を図る
	救急講習受講者数(延べ人数)	855人	855人	855人	〃
	防火講習等受講者数(延べ人数)	2,984人	2,984人	2,984人	〃
8 交通安全を推進する	交通安全の推進に満足している人の割合	48.8%	60.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	交通事故発生件数(1月～12月)	434件	400件	350件	10年後には現状から約20%の減少を目指す
9 防犯体制の強化と安心なまちづくりを推進する	防犯体制の強化と安心なまちづくりの推進に満足している人の割合	57.0%	65.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	刑法犯発生件数	37件	30件	25件	10年後には現状から約30%の減少を目指す
10 自然環境の保全に努める	自然環境の保全に満足している人の割合	68.4%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	川の環境基準(BOD75%値環境基準)	1.3mg/l	1.0mg/l以下	0.9mg/l以下	現状から30%程度の改善を目指す
	海の環境基準(COD75%値環境基準)	1.6mg/l	1.5mg/l以下	1.3mg/l以下	現状から20%程度の改善を目指す
	環境教育・出前講座の開催回数	0回	2回	5回	震災前の約30%の水準を目指す
11 ごみの減量と資源の活用を図る	ごみの減量と資源の活用に満足している人の割合	58.2%	70.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	市民1人1日当たりのごみ排出量	619g	610g	600g	現状から約3%の減少を目指す
	新エネルギー利用促進助成件数	40件	40件	40件	現状維持を目指す
12 安心して子どもを産み育てられる環境を整える	子どもを産み育てる環境に満足している人の割合	41.2%	60.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	年間出生数	94人	110人	130人	人口減少が見込まれる中、少しでも増加するよう取り組んでいく
	児童公園等の整備(延べ数)	4箇所	6箇所	8箇所	10年後(H40)までに4箇所の整備を目指す
	移住定住する女性の数	27人	50人	75人	10年後(H40)に現状の3倍程度の増加を目指す
13 一人ひとりを大切にした学校教育を推進する	一人ひとりを大切にした学校教育の推進に満足している人の割合	62.2%	70.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	「こころからだの健康観察」における要サポート児童生徒の割合	小:12.9% 中:11.2%	小:10.9% 中:9.2%	小:8.9% 中:7.2%	現状から4%の減少を目指す
	学校不適応児童生徒出現率	小:0.13% 中:2.65%	小:0.00% 中:2.35%	小:0.00% 中:2.00%	現状においても全国の水準を下回っているが、更なる減少を目指す、小学校は不適応ゼロを目標とする
	いじめ解消率	80.0%	100.0%	100.0%	いじめの根絶を目指す

基本政策	指標名	現状値 (平成29年度)	目標値		目標設定の考え方
			5年後 (平成35年度)	10年後 (平成40年度)	
14 子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成する	子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成に満足している人の割合	70.4%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	学習定着度状況調査における「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合	小:92.1% 中:77.2%	小:93.1% 中:78.2%	小:94.1% 中:79.2%	現状においても県の水準を上回っているが、更なる向上を目指す
	「人の気持ちがわかる人間になりたい」と思っている児童生徒の割合	小:66.0% 中:80.0%	小:68.0% 中:82.0%	小:70.0% 中:84.0%	現状においても県の水準を上回っているが、更なる向上を目指す
	体力・運動能力調査の総合評価全5段階のうちA・B・C段階の児童生徒の割合	小:76.0% 中:82.7%	小:78.0% 中:83.7%	小:80.0% 中:84.7%	現状においても県の水準を上回っているが、更なる向上を目指す
15 家庭や地域の教育力を高める	家庭や地域の教育力に満足している人の割合	69.9%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	各種学級等参加者数	1,934人	1,940人	1,940人	人口減少が見込まれる中、参加者数の現状維持を目標とする
	各種学級等参加者の評価	77.0%	80.0%	85.0%	10年後(H40)に8%の増加を目指す
	学校支援地域本部の設置数(延べ数)	9箇所	10箇所	10箇所	市内の全ての小学校及び中学校単位での設置を目指す
	学校支援ボランティアの登録者数(延べ人数)	100人	110人	110人	学校支援地域本部の設置数増加に合わせて、1割程度の増加を目指す
	たかた子どもキャンパスの年間参加者数	212人	220人	220人	人口減少が見込まれる中、参加者数の現状維持を目標とする
16 安全・安心な学校教育環境を整える	学校教育環境に満足している人の割合	66.0%	70.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	通学路安全点検危険箇所改善率	35.0%	40.0%	45.0%	現状から10%増を目指す
	学校教育計画の中に防災教育を位置づけ、実践に取り組んでいる小中学校の割合	100.0%	100.0%	100.0%	現状を維持し、防災教育の継続を目指す
17 共生のまちづくりを推進する	共生のまちづくりの推進に満足している人の割合	45.6%	60.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す また、被災者健康診査における「人とのつながり」についても参考とする
	再建した店舗のうちユニバーサルデザイン認証を受けた店舗の割合	0.0%	50.0%	70.0%	10年後に70%達成を目指す
	就労困難者就労者数(延べ人数)	6人	25人	50人	毎年5人程度の増加を目指す
	はまかだスポット数	314箇所	350箇所	400箇所	現状から年間10箇所の増加を目標とする
18 市民の健康づくりを推進する	市民の健康づくりの推進に満足している人の割合	80.2%	85.0%	90.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	介護予防教室の年間参加者数(延べ人数)	3,715人	4,000人	4,300人	今後増加が見込まれる高齢人口の約50%を目標とする
	チャレンジデー参加率	76.1%	75.0%	75.0%	震災後の過去5年間の平均(73.7%)以上の参加率の維持を目標とする
	スポーツ教室等参加者数(延べ人数)	56人	600人	700人	平成30年度に総合交流センターを供用開始し、スポーツ教室の開設を拡充したことから、平成30年度の見込み(495人)の20%増を目標とする
19 安心できる医療・介護・福祉体制を整える	医療・介護・福祉体制に満足している人の割合	48.1%	60.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	気仙地区の医師数(10万人当たり)	156人	160人	170人	毎年1人程度の増加を目指す
	未来かなえネット登録者数	3,333人	3,800人	4,300人	現状から年間100人の増加を目標とする

基本政策	指標名	現状値 (平成29年度)	目標値		目標設定の考え方
			5年後 (平成35年度)	10年後 (平成40年度)	
20 仕事と生活の調和を図る	仕事と生活の調和の推進に満足している人の割合	42.7%	60.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	高等職業訓練促進給付費等事業の受給者数	1人	2人	3人	毎年2人程度を受給を目指す
	仕事と生活の調和に関する講演会等参加者数	0人	100人	150人	毎年10人の増加を目指す
	各種審議会等における女性委員の登用率	17.7%	20.0%	25.0%	10年後に全委員の4分の1が女性委員となることを目指す
	仕事と家庭の両立支援行動計画策定登録数	5件	20件	30件	毎年3人程度の増加を目指す
21 協働によるまちづくりを推進する	協働によるまちづくりの推進に満足している人の割合	62.1%	65.0%	70.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で70%になることを目指す
	まちづくり団体活動補助金による支援件数	0件	5件	5件	支援制度を創設し、年5件の支援件数を目指す
	協働によるまちづくりに関する研修会等の開催数	0回	2回	4回	5年後までに主に行政主導で年2回、このほかに10年後までにはNPO等が主体となって年2回の開催を目指す
22 住民活動を支援する	住民活動の支援に満足している人の割合	68.3%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	コミュニティ活動推進補助金を利用した事業数	0事業	11事業	11事業	市内のコミュニティセンター全11地区における事業の実施を目指す
	自治会館等の整備支援件数(延べ件数)	38件	62件	73件	5年後までは主に被災した自治会館の再建を、その後5年間は年2件の通常改修等を目指す
23 地域間の交流を促進する	地域間交流の促進に満足している人の割合	83.0%	85.0%	87.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で87%になることを目指す
	友好都市等交流事業開催数	15回	20回	25回	開催数を年1回ずつ増加することを目指す
	U・Iターン者数	55人	100人	150人	毎年10人程度の増加を目指す
24 農業の振興を図る	農業の振興に満足している人の割合	36.9%	40.0%	50.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で50%になることを目指す
	新規就農者数(延べ人数)	1人	13人	23人	年2人の新規就農者の確保を目指す
	たかたのゆめの栽培面積	56ha	70ha	70ha	本格作付開始から7年目となる平成31年度に70ヘクタールまで到達し、市場需要の300トンを満たすうえで、それ以降は作付面積を増やさずに数量限定での販売戦略を進めるため、70ヘクタールの水準を維持することを目指す
25 林業の振興を図る	林業の振興に満足している人の割合	37.3%	40.0%	50.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で50%になることを目指す
	新規林業就業者数(延べ人数)	0人	12人	20人	毎年2人程度の増加を目指す
	自伐型林業により整備した森林面積	0ha	20ha	30ha	地域おこし協力隊の実績見込みから、3年間で約7ヘクタール整備するものと仮定し、5年後・10年後の数値をそれぞれ設定。(H30末で7ヘクタール、H33末で14ヘクタール、H36末で21ヘクタール、H39末で28ヘクタールを想定)
	再造林率	5.0%	20.0%	35.0%	岩手県森林資源循環利用推進ビジョンに準じ、10年間で30%の増加を目指す

基本政策	指標名	現状値 (平成29年度)	目標値		目標設定の考え方
			5年後 (平成35年度)	10年後 (平成40年度)	
26 水産業の振興を図る	水産業の振興に満足している人の割合	47.1%	50.0%	60.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で60%になることを目指す
	新規漁業就業者数(延べ人数)	9人	20人	30人	毎年2人の確保を目指す
	水産加工業新規就業者数(延べ人数)	2人	7人	12人	毎年1人の確保を目指す
	広田湾水産物の水揚量(サケ)	36,413尾	38,000尾	40,000尾	年1%程度の増産を目指す
	広田湾水産物の水揚量(イシカゲ貝)	68,127kg	100,000kg	100,000kg	陸前高田市まち・ひと・しごと総合戦略で掲げる目標値の維持を目指す
	広田湾水産物の水揚量(ホタテ)	224,947kg	230,000kg	240,000kg	年1%程度の増産を目指す
	広田湾水産物の水揚量(カキ)	86,559kg 4,354,201粒	90,000kg 4,500,000粒	95,000kg 4,700,000粒	〃
	広田湾水産物の水揚量(ワカメ)	783,624kg	820,000kg	860,000kg	〃
	広田湾水産物の水揚量(アワビ)	7,504kg	7,800kg	8,200kg	〃
27 商工業の振興を図る	商工業の振興に満足している人の割合	49.4%	60.0%	70.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で70%になることを目指す
	かさ上げ部の土地活用予定の割合(面積比)	33.0%	45.0%	60.0%	10年後に60%を目指す
28 地産地消とブランド化を推進する	地産地消とブランド化の推進に満足している人の割合	62.6%	65.0%	70.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で70%になることを目指す
	【再掲】たかたのゆめの栽培面積	56ha	70ha	70ha	本格作付開始から7年目となる平成31年度に70ヘクタールまで到達し、市場需要の300トンを満たしたうえで、それ以降は作付面積を増やさずに数量限定での販売戦略を進めるため、70ヘクタールの水準を維持することを目指す
	【再掲】広田湾水産物の水揚量(イシカゲ貝)	68,127kg	100,000kg	100,000kg	陸前高田市まち・ひと・しごと総合戦略で掲げる目標値の維持を目指す
29 地域資源を活かした観光振興を推進する	地域資源を活かした観光振興の推進に満足している人の割合	34.4%	50.0%	60.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で60%になることを目指す
	宿泊者数	18,944人 (H29.1月～12月)	35,000人	40,000人	平成21年度実績と比較して50%程度の回復を目指す
	観光入込客数	550千人回 (H29.1月～12月)	1,000千人回	1,200千人回	5年後(H35)に平成21年度実績と同程度までの回復を目指す
30 魅力ある雇用の創出と起業しやすい環境を整える	雇用の創出と起業しやすい環境の整備に満足している人の割合	22.7%	30.0%	40.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で40%になることを目指す
	市内における起業家の創出件数(延べ件数)	0件	5件	10件	年1件の起業家創出を目指す
	ビジネスプランコンテスト応募件数(延べ件数)	12件	50件	100件	年10件のコンテスト応募者を目指す
31 健全な財政運営を推進する	市の健全な財政運営の推進に満足している人の割合	36.4%	40.0%	50.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で50%になることを目指す
	実質公債費比率	13.7%	17.0%以下	17.0%以下	地方債を借り入れる際に県知事の許可を要することとなる18%を超えない数値の維持を目指す

基本政策	指標名	現状値 (平成29年度)	目標値		目標設定の考え方
			5年後 (平成35年度)	10年後 (平成40年度)	
32 広聴広報活動の充実を図る	市の広聴広報活動に満足している人の割合	73.2%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	市公式ホームページの閲覧者数	296千人	330千人	350千人	5年後までは毎年6,000人、その後5年間は毎年4,000人の増加を目指す
	市公式SNS(フェイスブック等)におけるフォロワー数	28千人	34千人	40千人	年ごとに1,200人の増加を目指す
	市政懇談会への年間参加者数(延べ人数)	427人	500人	550人	平成29年度と比較して、5年後に概ね15%、10年後に概ね30%の増加を目指す
33 利便性の高い行政サービスを提供する	市の行政サービスに満足している人の割合	49.1%	55.0%	60.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で60%になることを目指す
	公共無線LAN整備箇所数	2箇所	25箇所	30箇所	5年後までは主に避難所等への整備を、その後5年間は公共的施設への整備を目指す
	情報ポータルサイトの整備件数	0件	1件	1件	計画期間内の早期に1件の整備を目指す